

社団法人日本ネイチャーゲーム協会 平成19年度 事業報告

I. 平成19年度の総括

社団法人日本ネイチャーゲーム協会（以下協会）は、平成9年の法人設立から11年目となる年度を終了した。

平成19年度は、コーネル氏を迎えてネイチャーゲーム普及20周年記念事業として、来日シンポジウム、会員のつどい、シェアリングネイチャーの6原則の発表、コーネル氏の著書「ジョンミュア 自然と共に歩いた人生」の翻訳出版、「地球温暖化防止アクションプログラム・五感体験ネイチャーゲーム」の開発などを実施した。あわせて、コーネル氏の記者会見や、地球温暖化防止ネイチャーゲームのマスコミへのリリースなど、積極的な広報活動を行い、知名度のアップにつなげることができた。

ネイチャーゲームをとりまく社会的情勢としては、平成20年12月に「公益法人制度改革」が施行されることが決まり、当協会においても、公益社団法人をめざす事が確認され、公益法人改革対策委員会を設置し、本改革に向けた準備を開始している。

指導者養成事業は以下の通りとなった。

	平成19年度	平成18年度	平成17年度
年度末会員数	10,479名	10,676名	10,500名
会員更新率	85%	85%	85%
養成講座回数	87回	82回	77回
新規指導者登録数	1,332名	1,522名	1,511名
主催（登録者/回数/平均）	126名/5回/25.2名	164名/09回/18.2名	62名/02回/31.0名
課程（ " ）	488名/26回/18.8名	658名/25回/26.3名	725名/27回/26.9名
組織・共催・クローズ（ " ）	718名/56回/12.8名	700名/48回/14.6名	724名/48回/15.1名

一方、決算の結果としては、以下の通りとなった。

●正味財産の増減

(単位:千円)

	当期	前期	増減
経常収益	141,153	165,632	△24,479
経常費用	140,574	164,488	△23,914
当期正味財産増減額	579	1,143	△564
正味財産期末残高	39,274	38,695	579

●収益計算

(単位:千円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 異
事業活動	収入	139,193	141,189	1,996
	支出	137,513	139,730	2,217
	収支差額	1,679	1,459	△220
投資活動	収入	0	7,728	7,728
	支出	1,679	7,200	5,521
	収支差額	△ 1,679	528	2,207
財務活動	収入	10,000	0	△10,000
	支出	10,000	0	△10,000
	収支差額	0	0	0
当期収支差額		0	1,987	1,987
前期繰越収支差額		4,993	6,184	1,191
次期繰越収支差額		6,184	8,171	1,987

Ⅱ.平成19年度の重点項目に対する報告

- (1)「シェアリングネイチャーの6原則」を国内および国際ネットワークの中で確立する。  
 ネイチャーゲーム普及 20 周年記念実行委員会にて、コーネル氏より示されたシェアリングネイチャーの6原則（案）についての整理、協議を行い「シェアリングネイチャーの6原則」を完成させ、英語および日本語表記のポスターを作成。20 周年記念事業での配布を行うなど周知をはかった。
- (2) シェアリングネイチャー運動の拡大のための指導者養成カリキュラムを検討する。  
 ネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動を暮らしの中に取り入れ、より豊かな生き方の提案を視野に入れた新しいカリキュラムの検討を行った。平成 20 年度にトライアル事業を実施する。
- (3) シェアリングネイチャー運動の拡大のための賛助会員制度を検討する。  
 ネイチャーゲームサポーター会員募集チラシの作成、配布を行った。

### Ⅲ.事業部門別の報告

#### 1) 普及振興事業

##### (1)主催事業の開催

###### ①第17回全国ネイチャーゲーム研究大会

日 程：平成19年5月25日（金）～27日（日）の3日間

会 場：独立行政法人 国立室戸青少年自然の家

参加者：156名（うち高知県協会全国研究大会運営委員会 51名）

###### ②第2回全国一斉ネイチャーゲームの日

期 日：平成19年10月14日（日）

体験者：561名（報告のあったもののみカウント）

###### ③地域ネイチャーゲーム普及促進フェア2007

子どもゆめ基金助成金「子どもの主体的な地域参画を促す地域の魅力発見プロジェクト つくろう！みんなのまちの設計図/ネイチャーキッズ」

会 場：全国68会場

参加者：3,609名

###### ④地域ネイチャーゲーム普及促進フェア2007

河川整備基金助成 先人の知恵から学ぶ川の魅力 ～子どもたちがつくる「川のある町の設計図」～

会 場：全国16会場

参加者：391名

###### ⑤自然体験活動推進協議会（CONE）と連携した活動

・放課後子どもプラン

地域に潜在する自然や文化を活かした放課後の体験活動の展開に向けた取り組み

期 日：平成19年11月,12月,平成20年1月

会 場：長野県戸隠、茨城県つくば、東京都新宿

参加者：27名

自然体験活動指導者による効果的な放課後活動の取り組み

期 日：平成19年9月～平成20年2月

会 場：宮城県、茨城県、愛知県、長崎県、佐賀県

参加者：1,960名

###### ⑥スポーツ振興基金助成事業「ネイチャーゲーム普及20周年記念事業」

・20周年記念シンポジウム

期 日：9月14日

会 場：東京都国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：174名

・20周年会員のつどい

期 日：9月16日～17日

会 場：財）キープ協会清泉寮及び周辺（山梨県）

参加者：151名

(2)都道府県組織、地域ネイチャーゲームの会の活動支援

- ① 都道府県組織のためのメーリングリスト（T-NET）を運用した。
- ② 組織の為のネイチャーゲーム普及資料（組織支援チラシ）を作成・販売した。
- ③ 都道府県組織の運営のための「組織運営のための資料集 追加資料2008年度版」を作成し配布した。
- ④ 体験カード、シールを作成し、ネイチャーゲーム体験シール交付者を対象とした日本ネイチャーゲーム協会事業災害保障制度に継続加入した。
- ⑤ 都道府県組織、地域ネイチャーゲームの会の認知度をあげるために、HPでの掲載を行った。

(3)その他

- ① 講師の派遣を 26 回行った。
- ② 平成18年度日本ネイチャーゲーム協会活動報告書を作成し、HPで公開した。
- ③ 「ネイチャーゲーム講師プロフィール集」を作成、日本協会 HP 上に公開した。
- ④ 普及委員会を 1 回開催した。
- ⑤ ネイチャーゲーム普及20周年記念実行委員会を年間3回開催した。
- ⑥ サポーター（個人賛助）会員募集チラシの作成配布を行った。
- ⑦ (株) ベネッセコーポレーションのイベント「おやこみらいキャラバン」にてネイチャーゲームを取り入れたプログラムの企画協力を行った。

2) 人材開発事業

(1)主催講座の開催

- ① 都道府県組織、日本協会、他団体主催でのネイチャーゲームリーダー養成講座  
期 日：平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月  
開催地：全国 61 会場  
受講者：合計915名
- ② 大学・短大・専門学校での課程認定校制度ネイチャーゲームリーダー養成講座  
期 日：平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月  
開催地：全国 26 会場  
受講者：合計556名
- ③ ネイチャーゲーム指導員有資格者を対象とした講座の開催
  - ・ネイチャーゲームフォローアップセミナー  
期 日：平成19年4月～平成20年3月  
開催地：全国31会場  
受講者：合計532名
  - ・自主企画セミナー（リーダー研修単位認定講座）  
期 日：平成19年4月～平成20年3月  
開催地：全国6会場  
受講者：合計81名
  - ・ネイチャーゲームアドバンスセミナー  
期 日：平成19年4月～平成20年3月  
開催地：全国 3 会場

テーマ：「ドングリ」「絵本」「ファシリテーション」

受講者：合計58名

- ・ネイチャーゲームコーディネーター養成/研修講座

期 日：平成19年4月～平成19年12月

開催地：全国6会場

受講者：合計84名（うち養成講座受講者21名）

登録者：合計18名（平成18年度までの受講者からの認定も含む）

- ・全国ネイチャーゲームコーディネーターの集い

期 日：平成20年2月9日～11日

開催地：東京

受講者：合計33名（うち養成講座受講者3名）

- ・インストラクター養成講座

期 日：平成19年11月9～11日

開催地：東京

受講者：合計5名

登録者：合計3名

- ・インストラクター研修講座

期 日：平成20年2月15～17日、3月7～9日

開催地：東京都、奈良県

受講者：合計43名

- ・講座講師養成講座

期 日：平成20年1月19日～20日

開催地：東京

受講者：合計6名

登録者：合計5名

- ・トレーナー養成講座

期 日：平成19年11月2日～4日

開催地：東京都

参加者：5名

登録者：2名

- ・トレーナー研修講座

期 日：平成19年12月7日～9日

開催地：埼玉県

参加者：20名

- ・トレーナー特別研修

期 日：平成19年9月15日

開催地：山梨県

参加者：21名

#### ④教員を対象とした講座の開催

- ・ネイチャーゲーム入門セミナー

期 日：平成19年4月29日、8月24日、9月2日

開催地：東京都

参加者：5名、23名、6名

- ・授業に生かす自然体験活動 教員セミナーフォローアップ研修

期 日：平成19年8月4日～5日

参加者：15名

開催地：埼玉県

## (2)印刷物の作成・発行

- ① デザインのリニューアルされたリーダー養成講座開催のためのちらし・ポスターを作成し、各会場で活用した。
- ② 新規リーダー登録者に指導員手帳を発行した。
- ③ 指導員報「自然案内人2008年度版」を発行した。
- ④ 「インストラクターニュースレター」を年2回発行した。
- ⑤ インストラクターのためのメーリングリスト（INET）を実施した。
- ⑥ インストラクターの講師派遣依頼等を支援するための「インストラクター支援チラシ」を作成した。

(3)ネイチャーゲーム指導員登録者を対象とした、ネイチャーゲーム指導員災害保障制度に継続加入した。

(4)指導者養成委員会を年間3回開催した。

## 3) 自然学校事業

(1)子どもゆめ基金助成事業「戸隠子ども長期自然体験村」

期 日：平成19年7月29日～8月11日

参加者：小中学生20名

(2)子どもゆめ基金助成事業「戸隠村子ども里山ボランティア（フォレストリーダーズクラブ）」

- ・第1回 平成19年8月24日～8月26日 小中学生20名
- ・第2回 平成19年3月29日～3月31日 小中学生19名

(3)子どもゆめ基金助成事業 戸隠村子ども地域活動促進事業「森の子キャンプ」

- ・第1回 平成19年5月20日 25名
- ・第2回 平成19年6月17日 24名
- ・第3回 平成19年7月15日 15名
- ・第4回 平成19年9月30日 21名

## 4) 広報出版事業

(1)会員向け会報を年4回（6/15・9/15・12/15・3/15）発行した。

(2)ホームページを活用し、当協会の事業活動を効果的に伝えるための整備を行った。

特にリーダー養成講座の集客を目的としてホームページのリニューアルと動画の作成を実施した。さらに、携帯電話用のホームページのリニューアルし、QRコー

ドを利用した広報の展開を広げた。

- (3)当協会の活動についてテレビ・新聞・雑誌等あらゆる機会を通じて広報に努めた。
- (4)ジョン・ミューア「自然とともに歩いた人生」(ジョセフ・コーネル著)の翻訳・出版を行った。
- (5)ジョセフ・コーネル記者会見を外国人記者クラブにて行った。

#### 5) コース教材教具の開発事業

- (1)教材・教具及びコースの開発認定委員会において、以下の教材を認定した。
  - ・フィールドビンゴ 太陽と風カード

#### 6) 調査研究事業

- (1)アクティビティ開発認定委員会を3回開催し、以下のアクティビティを認定した。
  - 〈あの色この色どこの色〉
- (2)アクティビティ開発ワークショップを実施した。
- (3)事例・研究集を発行し、インターネット上で公開した。
- (4)自然体験活動推進協議会(CONE)と連携して、鹿児島県におけるコアリーダーのネットワーク構築事業および、青少年体験活動モデル事業を実施した。
- (5)「地球温暖化防止学習プログラム・五感体験ネイチャーゲーム」の開発・発表を行った。
- (6)ネイチャーゲームによる小学校の英語教育カリキュラムの検討については「地球温暖化防止学習プログラム」の開発を先行したため実施しなかった。

#### 7) 助成顕彰事業

- (1)ネイチャーゲーム奨励賞(指導者部門、組織部門)の表彰を行った。
- (2)都道府県協会及び地域ネイチャーゲームの会への助成金の交付を行った。
- (3)表彰審査委員会を年間1回開催した。

#### 8) 国際交流事業

- (1)ネイチャーゲーム韓国ツアーを1回開催した。
  - 期日 平成20年3月20日～23日
  - 訪問地 韓国・ソウル
  - 参加者 11名

以上